



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Theme of Rotary International 1992-3 *Real Happiness is Helping Others* まことの幸福は人助けから
1992-3年度国際ロータリーのテーマ/クリフ・ダクターマン R.I.会長

●本日の卓話

10月2日 第292回例会

■クラブ創立6周年記念例会

「創立記念日に因んで」

With relation to the 6th Anniversary of our Rotary Club

当クラブ会員 佐藤 定宏 君

●先週報告

9月25日 第291回例会

■卓話 イニシエーションスピーチ「海外今昔」当クラブ会員 馬場 博一 君

■親睦活動委員会（河合委員長）

10月6日（火）17時30分から火曜会を行います。引き続いて18時30分から東京全日空ホテル3階中華料理「梨花」で新会員歓迎会を行います。

■職業奉仕委員会（廣江委員長）

職業奉仕月間に因んで、10月9日（金）の例会日に、卓話に代えて、13時から1時間「職業奉仕フォーラム」を開催します。全員参加をお願いします。

■社会奉仕委員会（武下委員長）

10月11日（日）の港区福祉バザー当日は、12名程度の皆さんに参加していただく予定です。現在約20名の会員の皆さんから出品の目録と品物をいただいております。

■S A A委員会（芦谷委員長）

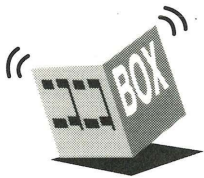
10月から例会場の着席を「生まれ月順」とさせていただきます。

■慶事披露 お誕生日／鈴木 丈君（9月26日） 100%出席／4年 永井 克彦君

■出席報告 会員63名中 出席46名、欠席17名（内出席免除者2名）／9月18日修正出席率88%／ビジター8名（地方1名、都内7名、敬称略）石田 構造（大阪淀川）、森 佳一（東京飛火野）、梅岡 総司（東京神田）、F. Harris・子安 恵三・島崎 保彦・島 幸彦・H. Schmidt（以上東京南）／ゲスト1名 相澤 成憲氏（佐藤 定宏会員ゲスト）

■工場見学会と親睦会 9月25日

例会後、川鍋二郎会員チャーターの大型バスで東京全日空ホテルを出発、15時に横浜市と川崎市にまたがる扇島の日本鋼管（株）京浜製鉄所に到着。17時まで田浦副所長、総務部佐藤さんのご案内で、製鉄、製鋼、圧延の工程を見学しました（参加者会員29名）。続いて横浜のニューグランドホテル新館の「ノルマンディ」で、19時から21時まで親睦会開催。全日空ホテルへ戻ったのは22時30分でした（参加者会員26名、ご夫人5名）。



順不同、敬称略
9月25日●24件／¥81,000
多額のご寄付をありがとうございました。
本年度累計／¥615,836

廣江 勲●本日のNKK工場見学よろしくお願いします。

松原 秋夫●先週長崎へ出張し、長崎東RCでメーキャップしてバナーを頂いてきました。

田島 一郎●1ヵ月海外に滞在して例会を長い間欠席しました。

丸山 忠典●例会欠席が続きました。

山田 順則●尿管結石のため長いこと入院しました。

保森 登●ザルूमさんどうもありがとうございました。

馬場 博一●小澁先生ご著書ありがとうございました。本日は卓話をさせていただきます。

佐藤 定宏●谷村先生、小澁先生、立派なご本をありがとうございます。

入沢 頼二●小澁先生の著書健康管理に役立てたいと思います。青野さん写真ありがとう。

後藤 信夫●小澁先生のご著書を拝読しました。例会場も禁煙になると良いのですが。

宮武 保義●小澁先生、健康管理に有益なご本を頂きありがとうございました。

佐藤 幸雄●小澁先生、著書ありがとうございました。またご出版おめでとうございます。

田中 武、平井 逸夫、永井 克彦、斉藤 茂之、渡部 一元、吉田 用親、馬場 一廣、

宮澤 博、関 征春、伊部 和夫、吉岡 琢磨、荒木 昭文

●小澁先生、素晴らしいご著書ありがとうございました。

●9月25日 卓話 「海外今昔」…………… 馬場 博一 (当クラブ会員)



私が初めて海外に出したのは、昭和19年12月中旬の寒い朝の博多港からでした。パスポートを持たず、切符は勿論1円の外貨も持たない粗末な軍服姿での旅立ちでした。文科系学生の徴兵猶予がなくなり、戦況の悪化で徴兵年齢が19歳に繰下げとなったのです。入営通知には「見送りは厳禁」「頭髪は1糎以内に、手足の爪は短く剪むこと」「前夜は十分に安眠すること」と書かれていました。日本軍が負けて翌年の3月に復員、復学し、4月の新学期に間に合いました。再会した学友から、博多を出発する朝、私を見送ってくれた友人達が、長崎医大で、8ヵ月後に原爆で全員死亡したことを知らされ、ショックを受けました。商社マンになったのは、廃墟と化した祖国日本の復興には貿易立国しかないと考えたからです。外貨獲得を使命として訪れた先は50カ国に達しました。各地で人類の様々な問題に直面しましたが、特に地域紛争の悲劇が私の網膜に焼きつきました。

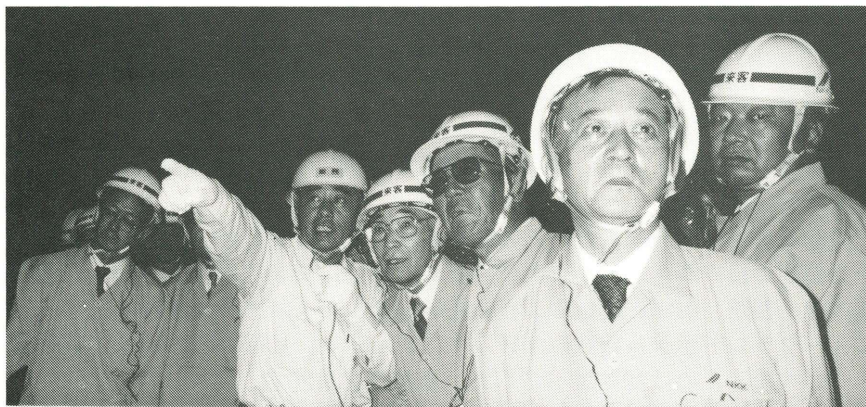
最初に出張したアフリカは、大自然が雄大で素晴らしいものでしたが、貧困と人種差別のひどさに悲憤慷慨しました。あれから30年、民主化が暗礁に乗り上げている南アフリカの現状を知り、遥なる道のりに溜め息が出ます。

ケネディ大統領の率いる若いアメリカを肌で感じ、明けて広げて自由な国、人種偏見のない、世界のリーダーとしてのアメリカに魅了させられました。アメリカの様な多民族国家が小学校から国旗と国家の下に、団結の精神を教え、愛国心を涵養しているのに感動しました。外国人の子弟を良きアメリカ市民に育てんとする努力は、今後我が国にとっても必要となると考えられます。ケネディが暗殺され、CIAが介在していたという噂に私のアメリカ観は大きく揺らいでいます。それにしても現在のアメリカ経済の凋落振りには、昔を知る者として感傷的にならざるを得ません。

ドイツは学生時代より憧れの国でした。日独は共に敗戦から立ち直り、経済大国となりました。勤勉、律儀、節約等、メンタリティに共通点が多いと思われそうですが、思考に本質的違いがあります。その違いが石油危機やテロ事件の対応に出てきました。近視眼的に右顧左眈しないしたたかさがあります。経済政策にしてもインフレに対する警戒から、高金利を維持し妥協しません。過去の苦い経験を忘れない、常に歴史に学ぶ姿勢を今日まで貫いています。ドイツも敗戦時米国から6・3・3制の導入を強制されたが、頑として受け入れず、独自の教育制度を堅持しました。ドイツの教育は、日本のように知育に偏重することなく、特に職業教育を重視しています。ドイツは悲願の東西統一を電光石火実現しましたが、これが今大きな足枷となっており、欧州の統合にまで影響を与えています。

米ソ冷戦が終結し、世界の枠組みが崩れたあとを受けて、新しい国際秩序が構築されることが望まれますが、東西のバランスが崩れた結果、かえって地域紛争が多発し、世紀末的な様相が強くなってきました。まことに今昔の感に堪えません。

●工場見学と親睦会報告



工場見学と親睦会の参加者(敬称略、順不同)
青野、荒木、馬場(一)、後藤、平井、廣江、伊部、入沢、石束、岩瀬、勝山、河合、川鍋、宮澤、二宮、大日方、斉藤、柴本、佐藤(定)、

工場見学だけの参加者 馬場(博)、宮本、永井、沖、吉岡
親睦会だけの参加者 宮武、同夫人、渡邊、同夫人、河合夫人、柴本夫人、佐藤(定)夫人

9月25日午後、日本で一番新しい基幹製鉄所といわれるNKK京浜製鉄所を見学しました。見学者全員作業服に着替えヘルメットをかぶって、高炉、転炉、厚板を身近にみて、製鉄、製鋼、圧延という鉄を作る工程を見学しました。特に高炉から運ばれてきた解けた銑鉄が転炉に注ぎ込まれる瞬間は圧巻でした。

親睦会場の横浜ニューグランドホテルは、宮武副会長のおられる清水建設が昭和2年に建設し、マッカーサー元帥が執務室として使用した名門ホテルです。今年再び清水建設の手で新館が作られました。この新館のレストランで全員最高のフランス料理とワインを堪能し、時の過ぎるのを忘れました。

●次回予告

10月9日(金) 第293回

職業奉仕フォーラム

〔時間〕13時から14時 〔場所〕例会場

①基調講話 田島 一郎君(当クラブ会員)

②意見交換と討議

東京新南ロータリークラブ

会長: 柴本芳郎 副会長: 宮武保義 幹事: 入沢頼二
〒107 東京都港区赤坂2-22-19 南部坂アネックス201号

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日・12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

会報委員

齊田 戡、青野信次、田中 武
荒木昭文、新保國彦、鈴木 丈
●10月度編集担当者/大日方 真
●卓話テーマ翻訳/渡部 一元
●印刷/豊圓堂印刷(株)